

ことしは
国民読書年

としょえもん

学校図書館サポートだより 第2号



八王子市教育センター内に学校図書館担当が生まれて半年経ちました。今年は国民読書年ということもあり、八王子市では図書館が中心になり、子どもと読書・市民と読書をつなぐ様々な団体が協力して、イベントが行われます。

このイベントに学校図書館担当も、これまでの活動紹介や巡回する中で出会った、様々な学校の取り組みを報告します。ぜひお越しください。



国民読書年記念フォーラム
(八王子市図書館主催)

に学校図書館担当も参加します！

日時: 11月3日(水・祝)

10時30分～16時

会場: 生涯学習センター
クリエイトホール第7学習室

テーマその1 学校図書館活用重点校紹介

23校の取り組みを写真で紹介。「他の学校ではどんな取り組みをしているのかしら？」に応えます。

テーマその2 学校図書館担当の活動

「巡回しているらしいけど、いったい何をしているの？」に応えます。

テーマその3 「読書郵便」体験コーナー

私の好きな本、誰かに勧めたい本を郵便に託して送ってみませんか。学校名とあて先(先生やお友だち)の名前を記入すれば『学校交換便』のルートを活用して必ずお届けします。

テーマその4 貸し出しを増やす工夫

折り紙や色画用紙を使ってちょっとしたプレゼントを作ってみませんか。プレゼント目当てで本を借りにくる子どもたちが増えるかも！



図書館から学校に本が届きます！

中央図書館からの『調べ学習用図書』『学級文庫用図書』の貸し出し・返却が便利になります。

11月半ばより図書館と学校を結ぶ交換便が始まります。

詳しくは中央図書館(児童担当: 664-4321)へお問い合わせください。

研修会報告

6月28日(月)10時～ 読書指導員・図書ボランティア研修会(杉山きく子先生)

7月29日(木)9時～ パワーアップ研修会(蔵元和子先生 ほか)

9月7日 (火)10時～ 司書教諭研修会(池田茂都枝先生)

講演をまじえながらの講演

杉山 きく子先生
『じろんこハリー』の読み聞かせ

6月28日 読書指導員研修会

「集団の子供たちを対象とした読み聞かせ」をテーマに、都立多摩図書館司書、杉山きく子さんに講師をお願いしました。113名の読書指導員、図書ボランティアの皆さんの参加をいただき、「選書に迷っていたが、選び方がよく分かった」「読み方もとても分かりやすい内容だった」「配布資料の本の紹介・ホームページの紹介は参考になる」というお声をたくさんいただきました。



読み聞かせの時間を楽しみにしている子どもたちがたくさんいると思います。本の中に広がる子どもたちの夢の世界をさらに広げていただけたらうれしいかぎりです。

子どもの「なぜ」を大切に
蔵元和子先生



7月29日パワーアップ研修会

市中央図書館を会場に定員を超える21名の先生方が参加。講師は「調の森」蔵元和子先生。最初に「児童・生徒が楽しむ調べ学習」をテーマに講義、その後「ウェビング法を活用したテーマ設定」「中央図書館の図書資料を使っただけの記録・まとめ」が、実習方式で進められました。先生方からは「明日からの学習指導にすぐ役立つ」など、高い評価をいただきました。また「八王子千人塾の紹介」「中央図書館の学校支援の説明・書庫見学」も実施。先生方には、改めて参考になることも多かったようでした。



グループに分かれて、調べ学習を体験。課題のテーマに添って、協力しながら作業を進める先生方

9月7日 司書教諭研修会

厳しい暑さの中、60名の先生方の参加を得て、今年度2回目の司書教諭研修会を開きました。東京学芸大学講師の池田茂都枝先生にお願いし、「読書習慣を形成するための読書活動の指導」をテーマにお話いただきました。ご自身の中学校教諭時の指導経験に基づいた具体的なお話をいただきました。

参加された先生方から、「実際に活用できそ

うな具体的な活動を紹介してくださり、たいへん分かりやすく参考になりました」読書郵便の指導についてのDVDはよかった」などのお声をいただきました。先生方には、お忙しい中での出席ありがとうございました。





学校図書館

活用重点校紹介～その2～

平成 22 年度重点校 23 校の図書館を順番にご紹介していきます。

山田小学校

学校独自の廃棄基準を設け、ボランティアとともに廃棄の作業中。入り口に季節の展示も。

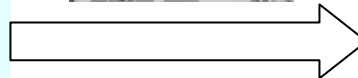


館小学校

地域ボランティアの方による、本のクリーニングと修理作業の様子

宇津木台小学校

第二図書室改造。畳が入り、先生方のアイデア満載で、素敵な『本の森』になりました。



第五小学校

『新刊の展示』
大きな見やすい表示。
夏の壁面装飾。



第六小学校

手作りのイーゼルで工夫された新刊展示コーナーと、新しく生まれ変わった絵本室



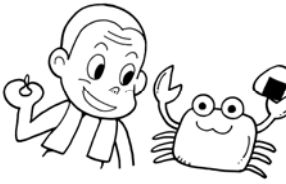
愛宕小学校

夏休みに図書室内の書架を分類番号順に並べ替えました。





学校図書館ワンポイントアドバイス 2 (読み聞かせ: 紙芝居の魅力)



紙芝居(平絵)は昭和の初めに誕生した日本独自の文化です。戦後、手書きの街頭紙芝居『黄金バット』が人気を博し、その後、時代の変化とともに、印刷された教育紙芝居として発展し、図書館や保育園や学校などの現場へ普及していきました。紙芝居は読み手と聞き手が向かい合い、一緒に作品の世界を楽しむことができます。

声の調子や、ぬく「間」でハラハラ、ドキドキ。また、みんなで見る楽しさもあります。少し大きくなった子どもでも、民話や昔話を紙芝居で聞くことで、懐かしい気持ちや温かい気持ちになることでしょう。

中央図書館では大型紙芝居のリストなども用意しています。ぜひ紙芝居の魅力に触れてみてください。そして、子どもたちにその楽しさを伝えてほしいと思います。

11月10日(木)10時からの第3回読書指導員・図書ボランティア研修会では『紙芝居の楽しみ・簡単な図書の修理』を予定しています。(詳しくは学校図書館担当まで)



学校図書館耳より情報

日々の活動の参考になるHPをご紹介します。アクセスしてみませんか。

楽しく学ぼう著作権 『おじゃる丸編』

<http://www.kidscric.com/>

著作権情報センターの子ども向けサイト。アニメやクイズを使いながら分かりやすく著作権の解説をしています。

子ども読書の情報館

<http://www.kodomodokusyo.go.jp/>

文部科学省が子どもの読書活動を推進するために開設。本に関する情報が盛りだくさん。

作家のメッセージ、本の探し方の紹介もあります。

インターネットのどこでもドア

<http://netkun.com/dokodemo/>

『読書の秋のリンク集』他調べ学習のリンクもいっぱい。役に立つ、楽しい情報にたどり着ける便利なサイト。小学館ファミリーネットより。

《コラム・としょえものの眼》 不都合な現実

話題作の映画をもじって言えば、不都合であっても現実として認めざるを得ないことはある。学校を巡回訪問して思うことは、どこの学校でも司書教諭の先生が苦労していることだ。このことを裏付けるような調査結果がある。その1、司書教諭が教職員間で協働すべき相手として認識されていない。そのため司書教諭という職種が学校現場に定着せず、孤軍奮闘を余儀なくされているということだ。その2、協働していると感じる内容が、学校図書館運営をめぐる事務的な作業に偏向している。そのため司書教諭が有している専門的な知識が十分生かされていないのだ。その3、司書教諭として職務に当たる時間が、週に1時間程度しか見いだされていない。読書指導員や図書ボランティアの方々により学校図書館が下支えされている現実を忘れてはならない。

ゴア元副大統領は、不都合な真実から目を逸らすなと教えた。司書教諭の先生たちにも、自校の図書館業務の混迷する現実を、粘り強く同僚に訴え続け、学校としての改善につなげてほしいとエールを送りたい。(甫)



平成22年10月15日 発行 第2号

八王子市教育センター 学校図書館担当

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

所在地 八王子市散田町 2-37-1

教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp